令和8年度

# 日本習字

# 文化講演会

## 席上揮毫

## 金澤翔子氏

## 講演

## 金澤泰子氏

「ダウン症の娘と生きて」

### 日時

令和8年 **11月1日㊐**

開場13:30／開演14:00（16:00終演予定）

### 会場

**星陵会館**

**2Fホール**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目16-2

アクセス
東京メトロ
有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」6番出口より 徒歩3分
千代田線「国会議事堂前駅」5番出口より 徒歩5分
銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」11番出口より 徒歩7分

### 定員

**300名（参加費無料）**

※申込者多数の場合は抽選、当選者のみ連絡。

**お申込み**

お申込み方法・イベント詳細は
右記の**日本習字公式サイト**を
ご覧ください。

**応募期間**

令和8年 **8.1㊏～9.30㊌** 17:00まで

**金澤翔子** かなざわ・しょうこ

書家。
5歳より母・金澤泰子に師事し書を始める。その純粋な感性と力強い筆致は国内外で高い評価を受け、伊勢神宮や東大寺をはじめとする神社仏閣での奉納や個展を重ねる。
東京オリンピック公式アートポスター制作、大河ドラマ『平清盛』題字揮毫、天皇御製謹書。
言葉に込められた祈りや優しさは多くの人々の心を動かし、教育・福祉分野をはじめ、共生社会の実現に向けた活動にも継続的に取り組んでいる。
文部科学省スペシャルサポート大使。2013年紺綬褒章受章。

©atelier shoko

©atelier shoko

**金澤泰子** かなざわ・やすこ

書家。随筆家。久が原書道教室主宰。
ダウン症の書家として国内外で活躍する金澤翔子の母であり、幼い頃から書を教えてきた師。明治大学卒業後、東京・大田区に久が原書道教室を開設。娘・翔子と共に歩んだ人生を通して、人が持つ可能性や希望、そして共に生きることの大切さを社会に発信し続けている。また、随筆家としてこれまで35タイトルを超える著書を発表。
その温かなまなざしと、深い人生観は幅広い世代から支持を集めている。
東京藝術大学評議員、日本福祉大学客員教授を務めるなど教育・文化の分野でも幅広く活動している。

●主催：公益財団法人日本習字教育財団　●後援：千代田区、千代田区教育委員会

［お問い合わせ］◎9/30迄 日本習字文化講演会事務局 TEL：03-6635-8839（平日10:00～17:00）◎10/1以降 日本習字企画課 ns_kikaku@nihon-shuji.or.jp

令和８年度

# 日本習字 文化講演会

【日時】令和8年 **11月1日(日)** 開場13:30／開演14:00
(16:00終演予定)

【会場】**星陵会館 2Fホール** 〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目16-2

アクセス 東京メトロ：有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」6番出口より 徒歩3分／千代田線「国会議事堂前駅」5番出口より 徒歩5分
銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」11番出口より 徒歩7分

【定員】**300名**（参加費無料） ※申込者多数の場合は抽選、当選者のみ連絡。

©atelier shoko

## 本講演の見どころ

**世界を舞台に活躍するダウン症の書家・金澤翔子氏による**
**圧巻の揮毫パフォーマンスと、**
**母であり師でもある金澤泰子氏による講演をお届けします。**

ダウン症の娘を授かり、深い絶望と不安の中から歩み始めた
母娘二人三脚の人生。
幾度もの困難に直面しながらも、その先にある一筋の光を見出し続けてきました。
やがて翔子氏は世界的に活躍する書家へと成長。
親子の軌跡を通して、希望と生きる力の大切さをお伝えします。

## お申込み方法

◀左記の日本習字公式サイトからお申込みください。
※日本習字受講の方、教室の先生も必ずこちらからお申込みください。

**300名**（参加費無料） 応募期間：令和8年 **8.1(土)～9.30(水)** 17:00まで

当選された方には、参加証となる当選通知ハガキを郵送いたします。

［お問い合わせ］◎9/30迄　日本習字文化講演会事務局 TEL:03-6635-8839（平日10:00～17:00）
◎10/1以降 日本習字企画課　ns_kikaku@nihon-shuji.or.jp

**【応募規約（一部抜粋）】**

本規約は、公益財団法人日本習字教育財団（以下「当財団」といいます）が主催する「日本習字文化講演会」（以下「本イベント」といいます）への応募および参加に関する条件を定めたものです。
参加を希望される方は、以下の内容を必ずご確認いただきお申込みください。なお、本イベントにご応募された時点で、本規約に同意いただいたものといたします。

1. 応募資格
本イベントに応募・参加できる方は、次の各号の条件をすべて満たす方に限ります。
(1)日本国内に在住し、本イベント参加時の年齢が小学生以上の方
(2)日本語での円滑なコミュニケーション（会話・読み書き）が可能な方

2. 応募方法および参加者の決定
(1)抽選の結果、当選された方にのみ、締切後に当財団よりご連絡いたします。
(2)抽選結果および抽選方法に関するお問合せには一切お答えできません。

3. 個人情報の取扱い
(1)応募時および参加時にご提供いただいた個人情報は、本イベントの運営に関連するご連絡の目的でのみ使用します。
(2)当財団は、個人情報を適切に管理し、法令に基づき取扱います。
(3)個人情報の取扱いについては当財団の個人情報保護方針に従います。応募時および参加時に提供いただいた個人情報は、当財団の個人情報保護方針に基づき、本イベントの運営・連絡等の目的に限定して適切に管理いたします。

4. 免責事項
(1)本イベントの内容は、予告なく変更・中止となる場合があります。
(2)医療スタッフは不在となりますので、当日健康上の問題が発生した場合は、救急手配の対応のみとなりますので予めご了承ください。また、車いすご利用の方の誘導などはスタッフが協力させていただきます。

その他の規約は、応募フォームをご確認ください。

## 11月2日は「習字の日」

公益財団法人日本習字教育財団

毎年11月2日は「習字の日」です。「いい（11）もじ（2）」の語呂合わせと、文化祭などが多く開催される11月の時期に合わせて、日本習字教育財団が制定しました（2013年9月、日本記念日協会登録）。
毛筆や硬筆で文字を書くことに親しみを持ってもらい、文字を手書きすることの大切さを伝えたいとの願いが込められています。

パソコンやスマートフォンの普及により、現代では手書きの機会が減っています。
しかし、そうした時代の潮流の中でも、姿勢を正し、墨の香りに包まれながら白い紙に向き合う習字・書道の時間には、今もなお、心を落ち着かせる特別な魅力があります。また、手書きの文字には書き手の温もりや個性が宿るものです。

当財団ではこの「習字の日」を、広く一般の方々にも知っていただけるよう、さまざまな活動を通して手書きの文字の魅力やその重要性をこれからも伝えてまいります。